



栃木SC

栃木SCツナガルプロジェクト 1/2

ホームタウン宇都宮市が地方として抱える様々な課題の中から「子どもの貧困」という地域課題に向き合うため「栃木SCツナガルプロジェクト」を立ち上げた。地域やスポーツ、夢などにツナガル機会を創出したいと考えている。第1弾の取組として、宇都宮市在住のひとり親世帯へのホームゲームご招待企画を実施。131名にご来場いただいた。第2弾はホームゲームでの学生服回収BOXの設置。不要になった学生服を入学準備が大変なご家庭につなげる取り組みを実施している。全ての子どもたちの笑顔のために、今後も取り組みを展開予定。



活動場所 カンセキスタジアムとちぎ



協働者

企業、行政

協働者名

宇都宮市、株式会社キッズコーポレーション、
いずみ産業株式会社



協働者の声 宇都宮市／中村 菜氏

行政としては子どもたちの「経験の貧困」を埋めるお手伝いが難しく、大きな課題だと考えています。プロスポーツチームである栃木SCが、子どもたちに試合観戦という素晴らしい経験をプレゼントしてくれたことにとっても感謝しています。今後も市との連携プロジェクトとして実施していただきたい。



活動詳細情報

1

[公式サイト①](#)

2

[公式サイト②](#)



カテゴリ(SDGs)／取り組みテーマ





栃木SC

栃木SCツナガルプロジェクト 2/2

Story

社会連携事業に着手するに当たり、栃木SCではホームタウン宇都宮市が抱える様々な課題の中から「子どもの貧困」に向き合うことを選びました。まず宇都宮市役所にお伺いし、子どもたちが抱える課題に関して勉強しました。貧困の中には「経済的な貧困」だけでなく「経験の貧困」もあることを学びました。「経験の格差」に関しては栃木SCが役に立てるのではと考え、プロジェクトを発足しました。プロジェクト名は「栃木SCツナガルプロジェクト」。事業を通して子どもたちが地域やスポーツ、夢や希望などにツナガル機にとなればと考えました。



第1弾の取組は、宇都宮市在住のひとり親世帯をホームゲームにご招待する事業です。子どもたちの経験の格差を少しでも埋めることを目的としています。市が8月に実施するひとり親世帯の面談にて本企画を告知いただき、観戦希望者にお申込みいただきました。

また、プロジェクト実施に当たり選手、スタッフの全員が課題を理解する必要があると考え、招待日の前にオンライン勉強会を実施。宇都宮市の職員様にお話いただき、子どもたちが抱える課題について全員で学びました。

当日は131名にご来場いただきました。活動にご賛同くださった株式会社キッズコーポレーション様、いずみ産業株式会社様のご協賛のお陰で、子どもたちへプレゼントもお渡しすることができました。初観戦のお子様が多く、特別な体験となってくれたようです。

第2弾の取組は「学生服リユースshopさくらや」様と提携してホームゲームでの学生服回収を実施しています。試合会場に学生服回収ボックスを設置し、サポーターに着なくなった学生服の持ち込みをご案内。お預かりした学生服は「さくらや」を通じて入学準備が大変なご家庭へつながります。2021年度は9点のご協力がありました。

全ての子供たちが夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指して、今後も本プロジェクトを展開していきます。